

ても受れる為めに、或はまたかの平和條約が私共  
のために重き出して、或はまた國際正義の實現のた  
にする努力へ、一層日本國民をば密接に參與  
せしむる為めに、働かざるして最近の慘劇によつ  
てむすも、勤勞を勉められたいの生國へと再び  
歸りて来ます。

彼等もななく次のやうな二つの誤解を氷解  
して、労働者はなりませぬ。或人々からは國際労働局  
は産業を攪乱する煽動の火元——捨て、置  
き、それ等は自分等の運命を閉ぢた路善し  
なりしや、との考を、毫も起さぬ、以下の労働者等  
の心を動搖せしむる煽動の火元であると考へられて  
居ります。他の人々からは國際労働局は資本金家

主義を緩和する手段——自己を自由にして開放せしむ  
るとして、資本家労働者等を眠らせ且て欺する手段  
である、と認り、或は或る私共の友は、淺薄  
は國際労働局が運命の白の光の元は、その真相を現は  
すべく、努力をなす事でありませぬ。

私共の存在の種族は、唯だ一つであり、私共の  
努力の目標も唯一つありませぬ。即ち平和條約が  
私共の使命なりと心得て、與へてくれ、高通りに、諸國相  
互の義務に依つて、かゝる不正と苦難と、貧窮と、と  
對して、労働者を保護するに力を盡すこと  
でありませぬ。もし、これに、同時に、手産の為には  
も、亦、社會全般の利益の為めにも、役立て、るべき事、  
私共の元介に、確信して、なす所でありませぬ。